

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第2区分  
 【発行日】令和6年11月5日(2024.11.5)

【国際公開番号】WO2023/162914  
 【出願番号】特願2024-503128(P2024-503128)

【国際特許分類】

H 0 1 G 9/028(2006.01)

H 0 1 G 9/02(2006.01)

H 0 1 G 9/035(2006.01)

H 0 1 G 9/048(2006.01)

10

【F I】

H 0 1 G 9/028 G

H 0 1 G 9/02

H 0 1 G 9/035

H 0 1 G 9/048 G

【手続補正書】

【提出日】令和6年8月16日(2024.8.16)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンデンサ素子と、液状成分とを含み、

前記コンデンサ素子は、表面に誘電体層を有する陽極箔と、前記誘電体層の少なくとも一部と接触する導電性高分子成分と、を含み、

前記導電性高分子成分は、自己ドーブ型導電性高分子を含み、

30

前記自己ドーブ型導電性高分子のハンセン溶解度パラメータHSPpと、前記液状成分のハンセン溶解度パラメータHSPeとの差：HSP1は、9.0MPa0.5以上11.4MPa0.5以下である、電解コンデンサ。

【請求項2】

前記ハンセン溶解度パラメータHSPpと、前記誘電体層を有する前記陽極箔のハンセン溶解度パラメータHSPfとの差：HSP2は、10MPa0.5以上16MPa0.5以下である、請求項1に記載の電解コンデンサ。

【請求項3】

前記陽極箔は、アルミニウムを含む、請求項2に記載の電解コンデンサ。

【請求項4】

40

前記自己ドーブ型導電性高分子は、少なくともスルホ基を含む、請求項1～3のいずれか1項に記載の電解コンデンサ。

【請求項5】

前記コンデンサ素子は、陰極箔と、前記陽極箔および前記陰極箔との間に介在するセパレータとを含み、

前記導電性高分子成分は、前記セパレータに含浸されている、請求項1～3のいずれか1項に記載の電解コンデンサ。

【請求項6】

前記コンデンサ素子は、陰極箔と、前記陽極箔および前記陰極箔との間に介在するセパレータとを含み、

50

前記導電性高分子成分は、前記セパレータに含浸されており、

前記自己ドーブ型導電性高分子は、少なくともスルホ基を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の電解コンデンサ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記に鑑み、(1)本開示の電解コンデンサは、コンデンサ素子と、液状成分とを含む。前記コンデンサ素子は、表面に誘電体層を有する陽極箔と、前記誘電体層の少なくとも一部と接触する導電性高分子成分と、を含む。前記導電性高分子成分は、自己ドーブ型導電性高分子を含む。前記自己ドーブ型導電性高分子のハンセン溶解度パラメータ  $HSP_p$  と、前記液状成分のハンセン溶解度パラメータ  $HSP_e$  との差： $HSP_1$  は、 $9.0 MPa^{0.5}$  以上  $11.4 MPa^{0.5}$  以下である。

10

20

30

40

50